

2025 年度ガイダンスカウンセラー資格認定試験 I -A 実施要項

(構成団体資格ならびに公認心理師資格を有しない者)



一般社団法人

日本スクールカウンセリング推進協議会

Japan School Counseling Association

資格認定試験 I -A 受験のご案内

1. 受験資格

受験にあたっては、次の3つの要件をすべて満たしていることが必要である。

1. ガイダンス（スクール）カウンセリングに関連する分野の大学院修士課程・専門職学位課程を修了した者。*1 2026 年3月修了見込み可
2. ガイダンス（スクール）カウンセリングに関連した業務に2年以上就いた者*2（週3日未満の非常勤職の場合は4年以上）。*2 2026 年3月見込み可
3. 教員免許状を有する者。ただし大学、大学院、短期大学、専修学校等でガイダンスカウンセリングに関連した授業を行っている者、ガイダンスカウンセリングの実務に就いている者は、これを免除する。

2. 受験内容

①書類審査：出願書類にもとづき、学歴、職歴、実務経験等を審査し、受験資格の有無を判定する。

②試験（筆記・実技）：試験日は2025 年 10 月 12 日（日）。

試験会場は東京（※詳細は、書類審査にて受験資格有と判定された者のみに後日通知する）。

試験内容（筆記・実技）は以下のとおり。

[筆記試験]

- 1) 多肢選択式ならびに用語説明問題：『ガイダンスカウンセラー入門』『生徒指導提要(改訂版)』に準拠して出題する。(40 分)
- 2) 論述試験：1 問（40 分）

[実技試験]

- 1) 模擬授業：ガイダンスカウンセラーの4 領域（学業面、進路・キャリア面、心理・社会面、健康面）のうち1 つの内容を選択して、A4 用紙1 枚の指導案を事前に用意する。2 人が一組になり、10 分間の模擬授業と5 分間の振り返りを行う。指導案等の詳細は、出願者に別途通知する。
- 2) 口述試験：ガイダンスカウンセラー資格とご自身の実践等について口述試験を行う。

3. 出願手順

①出願期間：2025 年 8 月 1 日（金）から 9 月 10 日（水）（消印有効）

出願期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受け付けない。

②出願書類：受験の出願にあたっては、以下の1～4 の書類を提出すること。また、各書類の記入は、3 頁の記入方法を参考とすること。

1. ガイダンスカウンセラー資格認定試験 I 願書 様式 25_I -A-1
2. ガイダンスカウンセラー資格認定試験 I 願書（受験票部分） 様式 25_I -A-2

3. 実務経験の自己申告書 様式 25_I -A-3
4. 卒業／修了証明書（最終学歴） 各学校の書式による

③受験料納入

- 1) 受験料 10,000 円を、下記の口座に入金する。

《振込み先》金融機関：りそな銀行

支店名：茗荷谷支店（店番 461）

口座番号：普通 1475222

口座名義：一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会

- 2) 振込受領書の写しを受験票の裏面に糊付けする。
- 3) 振込手数料は申請者の負担とする。
- 4) 一度振り込まれた受験料の返却はしない。

④出願書類の郵送：出願書類一式を揃えて、書留郵便で事務局宛に郵送する。

《宛先》〒112-0012 東京都文京区大塚 1-4-15 アトラスタワー茗荷谷 3F

一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会 ガイダンスカウンセラー係

4. 資格登録

- ①登録：合格者が、合格通知とあわせて郵送される振込用紙によって登録料と年会費を支払うことで、登録申請とする。
- ②登録料：10,000 円。
- ③年会費：2 年分 10,000 円（2026 年度、2027 年度分）。

5. 資格更新

本資格に登録した者は、10 年経過する毎に資格更新の審査を経て資格更新をすることができる。資格更新がなされない場合は、ガイダンスカウンセラーの資格を失う。資格更新の手続きは、「ガイダンスカウンセラー資格認定・更新規程細則」の定めによる。

6. 問合せ

問合せは電話・ファックス・メールにて受け付ける。

TEL：03-3941-8049 FAX：03-3941-8116 E-mail：info@jsca.guide

ガイダンスカウンセラー資格認定試験 I -A の提出書類の記入方法

1. 2025 年度ガイダンスカウンセラー資格認定試験 I -A 願書 様式 25_ I -A-1

- ①名前は自筆で記入する。
- ②定年等で現在の勤務先がない場合は、「元〇〇小学校教諭」のように最終の所属および職名を記入する。
- ③構成団体等の資格を有する者は、資格名・認定番号・取得年月あるいは加入年月を西暦で、正確に記入する。
- ④「教育職員免許」については、例えば「中学校教諭一種免許状（社会）」のように記入する。免許状番号・授与年月日・授与権者を正確に記入する。

2. ガイダンスカウンセラー資格認定試験 I -A 願書（受験票部分） 様式 25_ I -A-2

- ①＊の欄をもれなく記入する。
- ②受験番号・会場の欄は、事務局で記入する。
- ③写真（最近 3 ヶ月以内に撮影したもの）を 2 ヶ所に糊付けする。写真の裏にも名前を記入する。
- ④裏面に受験料振込受領書の写しを糊付けする。

3. 実務経験の自己申告書 様式 25_ I -A-3

- ①「実務経験一覧表」と「実務経験申告書」の両方を記入する。
- ②実務経験一覧表の「教員 A」については、学級担任や管理職など教員としての全勤務期間を書き出す。「勤務先・役職・担当」は、例えば、「東京都中央区立〇〇小学校教諭，学級担任」，「東京都中央区立〇〇小学校副校長」のように具体的に記入する。
- ③実務経験一覧表の「教員 B」については、「教員 A」の期間内で特にガイダンスカウンセリングの業務に関連した分掌について記入する。例えば、「東京都中央区立〇〇小学校教諭，教育相談部」のように具体的に記入する。
- ④教員以外の実務経験については、例えば、「〇〇県立総合教育センター教育相談チーム」（教育委員会，教育センター等の場合）のように具体的所属と役割を明確に記入する。複数の勤務歴のある場合は、すべて書き出す。非常勤の場合は、「非常勤，週 2 日」のように付け加える。
- ⑤大学・短期大学・専修学校に勤務する教員は、担当する授業科目名や付属する相談所の名前・役職を明記する。
- ⑥電話相談員・巡回相談員等は、「その他」の欄に記入する。
- ⑦兼任・非常勤などで、同じ年に複数の勤務経験のある場合は、ダブルカウントするので、それぞれ書き分ける。
- ⑧「実務経験申告書」は、ガイダンスカウンセリングの業務を遂行する熱意と資質の有無を判定するための大切な資料であるため、特に、下の点に留意し記述する。
 - 1) 勤務先・職名，期間を明記しどのような問題に対応したのか，どのようなアセスメントを

行ったのか、どのような対応をしたのか等について、その経過を具体的に記述すること。

例えば、単に「不登校」「いじめ」「WISC-V」などの用語だけでは不十分である。

2) 記述にあたっては、個人情報の漏洩のないよう、十分に配慮すること。

受験にあたっては本書を必読してください

ガイダンスカウンセラー入門

スクールカウンセリング推進協議会編著

定価：1,540 円（税込）判型：A5 判,128 ページ

目次

- 第1章 日本におけるガイダンスカウンセリングの起こり
- 第2章 スクールカウンセリング推進協議会
- 第3章 ガイダンスカウンセリングとガイダンスカウンセラー
- 第4章 ガイダンスカウンセリングを支える学問
- 第5章 臨床心理士とガイダンスカウンセラー、スクールソーシャル
ワーカーの資格の相違
- 第6章 ガイダンスカウンセラーの今後の課題
- 第7章 資格認定の考え方と方法
- 第8章 ガイダンスカウンセラーの自学自習
- 第9章 ガイダンスカウンセラーとガイダンスカウンセリングの実際

刊行：図書文化社

2025 年度ガイダンスカウンセラー資格認定試験 I -A 実施要項

2025 年 7 月 3 日発行

発行元：一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会

理事長：新井 邦二郎

所在地：〒112-0012 東京都文京区大塚 1-4-15 アトラスタワー茗荷谷 3F

TEL：03-3941-8049 FAX：03-3941-8116 E-mail：info@jsca.guide URL：http://jsca.guide/